

報告第 1 号

平成 2 9 年度事業報告について

【新事業創出育成事業】

新事業創出と起業化促進に向けて「ものづくりインキュベーションセンター」の適切な管理運営を行うとともに産学官等関係機関との支援体制の充実強化に向けた各種事業を実施している。

1. 「ものづくりインキュベーションセンター」の運営

11 室中 9 室入居（平成 30 年 3 月 31 日現在）

(1) 新規入居企業(5 社)

- ① 株式会社アスター
「高効率モーターコイルの開発」
・入居開始 平成 29 年 4 月 1 日
- ② 株式会社国際情報ネット
「ソフトウェア開発、システム構築、医工連携」
・入居開始 平成 29 年 10 月 1 日
- ③ 株式会社アイアールメディカル工房
「血管内治療用カテーテル製造事業」
・入居開始 平成 30 年 3 月 1 日
- ④ 株式会社 Social Area Networks
「コミュニケーションで繋がるFioT(Feeling Internet of Things)研究開発」
LPWAをベースとした機器の研究・設計・開発
・入居開始 平成 30 年 3 月 1 日
- ⑤ 株式会社マルマス
「新素材の活用方法の確立と拡大」
・入居開始 平成 30 年 3 月 1 日

(2) インキュベーションセンター入居期間延長

①第1回入居者審査委員会

入居期間満了となる入居3企業の延長申込みに関する審査を実施。

〔開催日〕 平成29年5月10日(水)

・入居期間延長申込3企業の期間延長を決定。

(福島再生可能エネルギー株式会社、SAISEI 合同会社、株式会社マイステック)

②第2回入居者審査委員会

入居期間満了となる入居2企業の延長申込みに関する審査を実施。

〔開催日〕 平成30年2月14日(水)

・入居期間延長申込2企業の期間延長を決定。

(株式会社アスター、水野睦夫)

(3) インキュベーションセンター退去

・平成29年4月28日退去 (起業支援室No.9号)

・平成29年6月30日退去 (起業支援室No.7号)

・平成29年8月28日退去 (起業支援室No.8号)

・平成29年8月31日退去 (起業支援室No.1、2号、No.6号)

郡山地域テクノポリス推進機構 ものづくりインキュベーションセンター 入居者一覧

(平成30年3月31日現在)

支援室 No.	企業名・団体名等	研究開発内容	住所	タイプ	面積 (㎡)	使用料金 (円)	入居承認 期間
1	株式会社 アスター 代表取締役 本郷武延	高効率モーターコイルの研究開発	秋田県横手市平鹿町浅舞字道川北18-3	実験室タイプ	42.0	65,100	H30.4.1 H31.3.31
2	株式会社アイアールメディカル工房 代表取締役 河邊大輔	血管内治療用カテーテル製造事業	沖縄県豊見城市宜保147番地202	実験室タイプ	42.0	65,100	H30.3.1 H31.2.28
3	福島再生可能エネルギー株式会社 代表取締役 岡田 素行	①移動式半炭化装置の開発 ②マイクロ水力発電機の開発 ③エネルギーマネジメントの研究	郡山市田村町徳定字中河原1-1 インキュベーションセンター3号	事務室タイプ	24.5	37,975	H29.5.21 H30.5.20
4	株式会社Social Area Networks 代表取締役 森田 高明	「コミュニケーションで繋がるIoT(Feeling Internet of Things)研究開発」 LPWAをベースとした機器の研究・設計・開発	東京都世田谷区代沢4-27-8 クウェストスクエア代沢1F	事務室タイプ	31.1	48,205	H30.3.1 H31.2.28
5	株式会社マイステック 代表取締役 金井 克也	脊椎手術用開創器システムの開発から事業化	郡山市田村町徳定字中河原1-1 インキュベーションセンター5号	事務室タイプ	30.0	46,500	H29.7.11 H30.7.10
6	株式会社マルマス 代表取締役 生龜 慎吾	新素材の活用方法の確立と拡大	郡山市水門町78-1	事務室タイプ	30.0	46,500	H30.3.1 H31.2.28
7	日本大学工学部	産学官連携プロジェクト		事務室タイプ	15.0	23,250	
8	空室			事務室タイプ	15.0	23,250	
9	株式会社国際情報ネット 代表取締役社長 尾形 廣秋	超高齢化社会に向けた介護支援ロボット開発	千葉県柏市北柏4-1-2 iNビル	事務室タイプ	15.0	23,250	H29.10.1 H30.8.31
10	水野 睦夫	コンクリート等のカビ・バクテリア繁殖防止、劣化を防止する石質改質剤の研究開発及び事業化	郡山市麓山一丁目14-8	事務室タイプ	15.0	23,250	H30.4.1 H31.3.31
11	SAISEI合同会社 代表社員 増尾 一	メタン分解装置の商品化に向けての開発	福島県郡山市喜久田町字葛蒲池21-13 長谷川ビル105号	事務室タイプ	15.0	23,250	H29.8.2 H30.6.1
試作C	株式会社 アスター 代表取締役 本郷武延	高効率モーターコイルの研究開発	秋田県横手市平鹿町浅舞字道川北18-3		30.0	46,500	H29.9.1 H30.8.31

(4) インキュベーションセンター入居者成果発表会

「こおりやま産業博2017」の会場において、当機構ブース内に各入居者の会社案内（ポスター、パンフレット、模型、試作品等）を出展した。

〔開催日〕 平成29年10月6日～8日（3日間）

〔会場〕 ビッグパレットふくしま

〔内容〕 当機構ブース内において6社の会社案内・研究成果等の紹介。

2. 債務保証事業

(1) 債務保証の実績

①平成29年度保証実績

現在 0件

②平成30年3月末現在の保証残高

保証残高はなし。

【技術振興事業】

1. 研修指導事業

(1) 産学連携技術者研修事業

①産学連携製造技術人材育成事業（マイスターズ・カレッジ2017）（一部新規）

ものづくり中小企業の技術者等を対象に、企業・大学等高等教育機関、産業支援機関等の産学連携により、基盤的製造技術（金属加工等）の高度化を図る人材育成事業として、次の2コースにより実施した。

○ファンダメンタルテクノロジーコース（新規）

〔研修期間〕 平成29年9月20日～11月10日

〔研修場所〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
福島県立テクノアカデミー郡山

〔講師〕 田中医科機器製作所 社員3名
福島県立テクノアカデミー郡山 指導員 2名

〔協力〕 株式会社マイステック

〔受講者数〕 6名

〔内容〕 医療現場で使われる手術用鋼製器械（手術用具）の重要性を学ぶ
手術用鋼製器械の設計と試作、汎用機及び手仕上げ技術の体験学習
・開講式、基調講演（2コース併せて実施）
・座学研修 3時間（1回3時間×1回）
・実習 21時間（1回3時間×7回）

○イノベーションマスターコース

- 〔研修期間〕 平成29年9月20日～11月21日
- 〔研修場所〕 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
- 〔講師〕 日本大学工学部 機械工学科 教授 武藤 伸洋 氏
- 〔受講者数〕 9名
- 〔内 容〕 ロボット・センサ・IoT技術に関する講座
ロボットやセンサを活用することで、生産現場の高度化や整備保守の効率化に
役立つ技術を習得できる講座
- ・開講式、基調講演（2コース併せて実施）
 - ・座学研修 12 時間（1回1.5時間×8回）

②ちびっ子マイスターズ・カレッジ2017（拡充）

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会や日本大学工学部等と連携し、小学生（3年生～6年生）とその保護者を対象に、「コンクリート探検隊！」・「コンピューター動かし隊！」の2つのテーマで実施し「ものづくり」や「ICT」について理解を深め、将来を担う子どもたちに「ものづくりやICT」の楽しさを伝えた。

○コース1：コンクリート探検隊！（小学3～6年生対象）

- 〔開催日時〕 平成29年7月22日（土） 郡山会場（10:00～14:30）
平成29年7月23日（日） 須賀川会場（9:30～12:00）
- 〔会 場〕 郡 山 会 場：日本大学工学部70号館（7011 教室・7012 教室）・47号館
須賀川会場：福島空港公園 緑のスポーツエリア 会議室）
- 〔参加者数〕 郡 山 会 場：児童91名 保護者等83名
須賀川会場：児童37名 保護者等34名
- 〔講 師 等〕 日本大学工学部 土木工学科 教 授 岩城 一郎 氏
日本大学工学部 土木工学科 准教授 子田 康弘 氏
日本大学大学院 工学研究科 大学院生
日本大学工学部 土木工学科 学生
- 〔内 容〕 ・コンクリートの強度や研究内容についての講義
・工作（特殊セメントでキャラクター作り）
・コンクリートの破壊実験（郡山会場のみ）

○コース2：コンピューター動かし隊！（小学3～6年生対象）

- 〔開 催 日〕 平成29年7月22日（土） 郡山会場（午前・午後の2回）
平成29年7月23日（日） 須賀川会場（午前・午後の2回）
平成29年7月29日（土） 鏡石会場（午前1回）
平成29年7月30日（日） 三春・石川・玉川会場（午前1回）

- 〔会 場〕 郡山会場：郡山商工会議所
 須賀川会場：須賀川市産業会館
 鏡石会場：鏡石図書館
 三春・石川・玉川会場：福島空港ビル
- 〔参加者数〕 136名（郡山 30名×2回、他 20名×4回）
- 〔講 師 等〕 ㈱プレイノーション 代表取締役社長 菅家 元志 氏
- 〔内 容〕 子供向けの教育用プログラミング言語の Scratch（スクラッチ）を使用し、アニメーション、ゲームなどの作品を作りながら、プログラミングの基礎を学ぶ。

③ 中学生向け医工連携人材育成事業

- 〔開 催 日〕 平成29年8月4日（金）
- 〔会 場〕 ふくしま医療機器開発支援センター
- 〔参加者数〕 38名
- 〔講 師 等〕 日本大学工学部 電気電子工学科 教授 酒谷 薫 氏
 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 社員
 （一財）ふくしま医療機器産業推進機構 職員
- 〔内 容〕 (1) 医工連携人材育成に関する講義 日本大学工学部 酒谷教授
 (2) 体験学習 4班(1班10名)に分け、1ブース30分程度の体験学習を行う。
 ①手術室見学 ②看護体験 ③内視鏡体験 ④模擬手術体験

④ 就職活動を控えた学生の企業視察を仲介

大学等高等教育機関からの依頼により、就職活動を控える学生を対象にテクノポリス圏域企業を知る機会を提供し、雇用の促進につなげました。

- 〔依 頼 者〕 日本大学工学部 工学部長 出村 克宣 氏
- 〔開 催 日〕 平成29年10月27（金）
- 〔見 学 先〕 林精器製造㈱（須賀川市）
 富士ダイス㈱（郡山市）
 クラリオンマニュファクチャリング&サービス(株)（郡山市）
 保土谷化学工業㈱（郡山市）
 ㈱TBK（玉川村）
- 〔参 加 者〕 機械工学科3年生以上の学生と担当教員 130名
- 〔内 容〕 会社概要説明、工場内見学、質疑応答

(2) 科学技術交流事業

① 研究会開催事業

日本大学工学部等との連携による研究会を開催した（アライアンス研究開発推進部会との共催事業）。

○第4回サステナブル地域づくりフォーラム

担当コーディネーター：日本大学工学部土木工学科 教授 岩城 一郎 氏

〔開催日〕 平成29年9月26日（火）

〔場所〕 葛尾村

〔参加者数〕 23名

〔内容〕 持続可能な地域づくりを目指して～in 葛尾村～

○コーディネーターからの話題提供

①日本大学工学部建築学科 准教授 浦部 智義 氏

「包括協定～交流館・蔵計画～サークルミーティング～ワークショップ構想」

②日本大学工学部土木工学科 教授 中野 和典 氏

「葛尾村のフィールドを活かしてⅠ～農・水・緑～」

③日本大学工学部土木工学科 准教授 朝岡 良浩 氏

「葛尾村のフィールドを活かしてⅡ～防災等～」

④日本大学工学部土木工学科 教授 岩城 一郎 氏

「ドローンに関する協定と今後の展開」

○復興交流館・蔵改修の敷地と現状の視察

○ドローンの実演

○第5回健康医療福祉産業創生フォーラム

担当コーディネーター：日本大学工学部電気電子工学科 教授

次世代工学研究センター長 酒谷 薫 氏

〔開催日〕 平成29年10月20日（金）

〔会場〕 日本大学工学部次世代工学技術研究センター

〔参加者数〕 60名

〔内容〕 『ロボットとAIなどの先端技術による健康長寿』

第1部 基調講演

講演1 「医療福祉ロボットの現状と未来」

講師 東京大学名誉教授 佐藤 知正 氏

講演2 「IoTヘルスケアによるデジタルイノベーション」

講師 アクセンチュア株式会社イノベーションセンター長 中村彰二郎 氏

第2部 パネルディスカッション

パネリスト 酒谷 薫教授及び講師2名

② ICT高度利用推進事業

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会と連携し、ICTを活用して高い付加価値を創造できる高度なICT人材の育成を図るため、多様なニーズに対応した研修会等を開催。

○第1回セミナー

〔テ ー マ〕 「情報セキュリティ対策セミナー 企業を襲うサイバー脅威～その手口と対策～」

〔開 催 日〕 平成29年8月23日（水）15：00～16：30

〔会 場〕 郡山商工会議所 6階 中ホール

〔参加者数〕 60名

〔講 師〕 長谷川 長一 氏

株式会社ラック 事業企画推進室 理事

東京電機大学 国際化サイバーセキュリティ学特別コース講師

○第2回セミナー

〔テ ー マ〕 「AIの現状と今後 ～AIの利用シーンにおけるメリット・デメリット～」

〔開 催 日〕 平成30年3月16日（金）15：00～17：30

〔会 場〕 郡山商工会議所 6階 中ホール

〔参加者数〕 31名

〔講 師〕 長橋 大蔵 氏

株式会社スイッチスマイル 代表取締役・CEO

③ 情報化人材育成・研究事業

産業界を中心に大学や研究機関・市町村と連携し、圏域IT企業の活性化や起業化、ICTの高度利用促進を図るための講習会等を開催。

○ハッカソン 「Connect 2017 in Koriyama, with UDC」

〔開 催 日〕 平成29年11月11日（土）～12日（日）

〔会 場〕 郡山市青少年会館

〔参加者数〕 91名（12チーム）

〔内 容〕 「地域の課題を解決するアプリを作ろう」をテーマに、社会人と学生の12チームが参加し、1泊2日の合宿形式によるハッカソン（アプリケーション開発イベント）を開催した。

④ 産学官交流会等開催事業

テクノポリス講演会・交流会の開催や関係機関による交流会・講演会への支援。

○第18回 産・学・官連携フォーラム（日本大学工学部との共同主催）

日本大学工学部との共催により、産・学・官 組織の協力体制を強化させるため、各関係機関との連携促進に向けてフォーラムを開催。

〔開催日〕 平成29年11月28日(火)
〔会場〕 日本大学工学部50周年記念館(ハットNE)大講堂
〔テーマ〕 「葛尾村発 ドローンを活用した産学官の連携による地域づくり」
〔参加者数〕 約200名
〔内容〕

講演会

「葛尾村のいまをドローンで知る～社会インフラから環境まで～」

講師 日本大学工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎 氏

「葛尾村における現況とドローンへの期待」

講師 葛尾村復興推進室 室長 松本 忠孝 氏

「ドローンを活用した野生鳥獣生息調査について」

講師 (株)スカイシーカー 代表取締役 佐々木 政聡 氏

「小型 UAV に搭載可能なセンサ開発とその応用について」

講師 日本大学工学部 情報工学科 教授 若林 裕之 氏

パネルディスカッション

【座長】 日本大学工学部 機械工学科 教授 柿崎 隆夫 氏

【パネリスト】

日本大学工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎 氏

日本大学工学部 情報工学科 教授 若林 裕之 氏

葛尾村復興推進室 係長 島 崇徳 氏

(株)スカイシーカー 代表取締役 佐々木 政聡 氏

○須賀川市企業間ネットワークセミナー2018を共催

須賀川市内外における企業間のネットワークの拡大を推進し、地場産業の活性化を図るため、セミナーによる交流の場を設定し、企業に対する情報発信や企業間連携による研究開発、取引拡大等の機会を提供する。(須賀川市主催、テクノポリス共催事業)

〔開催日〕 平成30年2月7日(水) 午後3時～

〔場所〕 グランシア須賀川

〔内容〕 第1部 講演会

○新たな事業への取り組みについて

・(株)あおい

・(株)吉城光科学

○福島県の新産業への取り組み状況、動向について

・福島県企業立地課

第2部 交流会

〔参加者数〕 約110名

⑤ 郡山地域資源情報発信事業

郡山地域の先進的研究機関、学術研究機関、優良製造業、産業遺産を貴重な地域資源と捉え、地域資源を有機的に結びつけた「サイエンスツアー（産業ツーリズム）」を実施し、郡山地域の魅力を幅広く県内外に情報発信を図った。

○サイエンスツアーin こおりやま2017

〔内 容〕 日大工学部次世代工学技術研究センター、ふくしま医療機器開発支援センター、福島県環境創造センター「コミュタン福島」、福島空港ソーラーパーク、郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター等を視察研修

〔参加者等〕	5月25日～26日	日本実験動物学会	21名
	8月29日	福島県医療福祉機器産業協議会	5名
	9月8日～9日	東京商工会議所夏季研修	31名
	10月27日	あさかの学園大学 芸術・文化学科1年	40名
	11月02日	あさかの学園大学 郷土・生活学科1年	35名
	11月15日	あさかの学園大学 健康・福祉学科1年	29名
	11月25日	住みたい街と仕事に会える起業体験ツアー	14名
	平成30年2月26日	日商・東商エネルギー委員会視察研修	18名

(3) 技術情報提供事業

① NUBIC（日本大学産官学連携知財センター）等との連携による技術情報提供事業

NUBIC等との連携によるセミナーや定例相談会の開催等を通じて、大学の有する知的財産の企業への技術移転をはじめ、共同研究の促進など、産学連携活動の円滑化を支援。

〔内 容〕 産学連携・技術・知財に関する相談、企業出前セミナーの開催

〔相 談〕 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで（月1回程度）

相談件数：8件

〔企業出前セミナーの開催〕 1件

2. 研究開発活動支援事業

(1) 研究開発コーディネート事業

① 技術コーディネーターの設置

産学官連携や企業間連携の推進を図るための技術コーディネーターを設置。

技術コーディネーターによる企業訪問・相談案件数 168件

※昨年度 108件

② 技術アドバイザーの委嘱

各種助成制度案件に係る事前審査及び成果確認業務等を行うため、日本大学工学部の各学科（土木、建築、機械、電気電子、生命応用、情報）から教員各1名を、当機構の技術アドバイザーとして委嘱している。

(2) 福島県再生可能エネルギー次世代技術開発事業

平成25年度に採択された「テーマ：再生可能エネルギー利用次世代型農業施設開発」事業は、3年間の事業を完了し、引き続き実験施設の活用・維持及び、再エネ地中熱の実用化のための活動を実施した。

3. 研究開発活動助成事業

(1) F/S（フィージビリティ・スタディ）支援事業

研究開発及び新事業創出に係る実現可能性調査に要する経費の一部を助成。

平成29年度助成決定件数 0件

(2) 研究開発助成事業

新技術又は新製品の開発、生産工程の合理化又は製品の高付加価値化、これらに類する技術の高度化に関する研究開発に要する経費の一部を助成。

平成29年度助成決定件数 1件

林精器製造株式会社「生しいたけの階級・等級の自動選別機製作のための研究開発」

(3) 技術等審査委員会の開催

研究開発助成金申請及び地域技術起業化助成金申請に対し外部審査委員による審査会を開催。

技術等審査委員会開催日 平成29年11月29日（水）

(4) 技術高度化研修支援事業

技術力向上による取引拡大や組織・経営の確立を図る目的で受講する国・県・市町村、専門教育研修機関及び関連企業等が行う研修で4日以上開催する事業

平成29年度助成決定件数 0件

【地域技術起業化推進事業】

1. ものづくり起業家育成・支援事業

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議を中核として、事業連携を推進。

(1) 企業連携（アライアンス）の促進

① 会議・交流会等の開催

(7) 役員会

- | | |
|-------|--|
| 〔開催日〕 | 平成29年5月17日（水） |
| 〔会場〕 | ものづくりインキュベーションセンター会議室 |
| 〔参加者〕 | 11名 |
| 〔内容〕 | ・28年度事業報告及び収支決算報告について
・29年度事業計画（案）及び予算（案）について
・29年度役員（案）について
・新規会員企業について
新規 6社 |
| 〔開催日〕 | 平成29年8月9日（水） |
| 〔会場〕 | ものづくりインキュベーションセンター会議室 |
| 〔参加者〕 | 12名 |
| 〔内容〕 | ・新規会員企業及び退会企業について
新規 2社 退会 3社
・企業製品・研究成果等発表会（プレゼン会）について |
| 〔開催日〕 | 平成29年10月11日（木） |
| 〔会場〕 | ものづくりインキュベーションセンター会議室 |
| 〔参加者〕 | 13名 |
| 〔内容〕 | ・特別講演会について
・産・学・官連携フォーラムについて
・新エネルギーコンテストについて |
| 〔開催日〕 | 平成30年3月6日（火） |
| 〔会場〕 | ホテルハマツ |
| 〔参加者〕 | 14名 |
| 〔内容〕 | ・新規会員企業及び退会企業について
新規 4社 退会 1社
・研究開発推進部会（3つのフォーラム）について
・平成30年度役員会、総会について |

(4) 総会

- | | |
|-------|--------------|
| 〔開催日〕 | 平成29年6月6日（火） |
|-------|--------------|

- 〔会 場〕 ホテルハマツ
〔参 加 者〕 24名
〔内 容〕 ・28年度事業報告及び収支決算について
・29年度事業計画（案）及び予算（案）について
・29年度役員について

(g) 特別講演会

毎年1回会員以外の企業も参加できる講演会を開催

- 〔開 催 日〕 平成30年3月6日（火）
〔内 容〕 <弱いロボット>的思考のすすめ
～なし崩しの機能追加主義からの脱却にむけて～
豊橋技術科学大学 教授
同大学人間・ロボット共生リサーチセンター センター長 岡田 美智男 氏
〔参 加 者〕 70名

(i) プレゼン会

○第5回企業製品・研究成果等発表会

- 〔開 催 日〕 平成29年6月6日（火）
〔会 場〕 ホテルハマツ
〔参 加 者〕 40名
〔内 容〕 ○ものづくり系マッチングサービス「Linkers（リンカーズ）」について
リンカーズ株式会社 プロジェクトマネージャー 藤井 彩子 氏
○「Linkers」を活用して
株式会社VIBE 経営企画室兼第1事業部 亀井 丈嗣 氏
○新規会員企業による企業紹介
株式会社タスク設計部 部長 菅沼 智仁 氏

○第6回企業製品・研究成果等発表会

- 〔開 催 日〕 平成29年10月11日（水）
〔会 場〕 日本大学工学部70号館3階7036教室
〔参 加 者〕 41名
〔内 容〕 ○東京電機大学産学連携の取り組み
東京電機大学研究推進社会連携センター
産官学交流センター 齋藤 裕也 氏
○特別企業プレゼン
不二ライトメタル株式会社
取締役技術本部長 井上 正士氏
新規会員企業による企業紹介
○大槻電気通信株式会社 代表取締役 大槻 努 氏
○株式会社システムデザインワークス 代表取締役 田代 寿樹 氏

(ウ) 研究開発プロジェクト

生しいたけ自動選別機研究開発

JA 全農ふくしまの依頼により企画がスタート。林精器製造㈱、日本大学工学部との連携により生しいたけ自動選別機の研究開発を進めている。

(2) 研究会活動支援事業

須賀川方部アドホック研究会

① 総会及び例会

- 4月 定期総会
- 5月 文科会設立検討会
- 6月 視察研修（福島県）東北電力㈱原町火力発電所
- 7月 視察研修（福島県）㈱ナショナルマリンプラスチック（石川町）
大野農園㈱（石川町）
- 8月 ドローンに関する講習会
講師：株式会社スペースワン
会場：ブルースタジアム
- 9月 視察研修（福島県）㈱エスク（矢吹町）
- 10月 講演会
テーマ：白河素形材ヴァレーの取り組みについて
講 師：株式会社キャスト 常務取締役 若林 誠 氏
- 11月 海外視察研修（ベトナム・ホーチミン）
JETRO ホーチミン事務所、ベカメックス本社、人材教育・研修機関エスハイ本社ほか
- 12月 海外視察研修報告会
- 1月 青森県中南地域県民局主催「ものづくり企業カイゼンネットワーク研修会」の参加者との交流会
- 2月 須賀川市企業間ネットワークセミナーへの参加 ※当機構共催事業
- 3月 視察研修（東京都）及び平成30年度事業計画の意見交換会
東京理科大学

② その他

○ 須賀川商工会議所工業部会等との連携

2017 国際ロボット展視察会

〔開催日〕 平成29年12月1日（金）

〔会場〕 東京ビッグサイト

○ オブショナルツアー

株式会社キャスト視察（白河市）

〔開催日〕 平成30年1月24日（水）

(3) 「こおりやま産業博」等への出展

- ① ビッグパレットふくしまを会場に行われたイベントに出展し、機構のPR等を行った。

〔出展イベント〕

こおりやま産業博 平成29年10月6日から8日

メディアクリエイションふくしま 平成29年10月25日、26日

REIF ふくしま 平成29年11月8日、9日

ポットフェスタふくしま 平成29年11月22日、23日

〔会 場〕 ビッグパレットふくしま

〔出展内容〕 当機構ブース内に、機構の業務案内とものづくりインキュベーションセンターに入居する企業案内（ポスター、パンフレット、模型、試作品、研究成果等）を出展した。

- ② 機械振興会館で行われた「福島県ものづくりフェア」に出展

〔出展イベント〕 福島県ものづくりフェア 平成30年1月24日～30日

〔会 場〕 機械振興会館 地下1階 （東京都港区）

〔内 容〕 福島県東京事務所主催により初めて開催された同フェアに出展し、当機構の業務案内と圏域市町村の産業施策紹介を、ポスターやパンフレットにより実施した。

3. 地域技術起業化支援・助成事業

(1) 新技術・新製品市場開拓支援事業

新技術、新製品の市場開拓や販路拡大につなげることを目的とする産業見本市等への出展や市場等の調査、テストマーケティング、アドバイザーの活用など戦略的マーケティングに要する経費の一部を助成。

① 産業見本市等出展支援事業

平成29年度支援決定件数 0件

(2) 地域技術起業化助成事業

研究段階を終え、起業化の可能性が高まった地域技術を応用可能な段階へと成熟させ、製品化・商品化するため、商品・デザイン開発・情報収集、市場開拓などの事業に要する経費の一部を助成。

平成29年度助成決定件数 0件

4. コーディネート事業

(1) 産学連携コーディネート業務

郡山市が公募した「産学連携 コーディネート」委託業務を受託した。

〔業務内容〕『潜在的成長力を有する企業を発掘してニーズ・シーズ等の深掘りを行い、さらには、高等教育機関、産業支援機関及び公的研究機関が存在する本市の強みを生かしたマッチング等により再生可能エネルギー分野及び医療・福祉分野などにおける新たな事業や技術の創出を支援する。また、新事業・新産業の創出には金融機関が持つ情報・知恵も必要であることから金融機関との連携も進める。』

〔受託期間〕 平成29年6月12日から平成30年3月23日まで

〔業務実績〕

(ア) 新事業参入への啓発事業

① 産学連携セミナーの開催

「目的」 幅広い産業における要素技術が蓄積されているロボット産業分野への企業の新規参入を啓発し、新事業創出につなげ、郡山市及び福島県の産業振興に寄与する。

「日時」 平成29年9月7日(木) 14:00～16:20

「場所」 日本大学工学部50周年記念館 3階 AV講義室

「講師」

東京大学名誉教授 佐藤 知正氏

「ロボット実用化の歴史・特長、それを踏まえた地域からのロボット産業化」

日本大学工学部 教授 武藤 伸洋氏

「日本大学工学部ロボット事業の取組、マイスターズカレッジについて」

「参加者」 88名

(イ) 市内企業に関する情報収集等

① 企業の情報収集

- ・中核・潜在的成長力を有する企業 16社 24回訪問
- ・その他の企業 28社 33回

② 金融機関と連携

- ・金融機関からの紹介企業との情報交換 25社
- ・企業訪問 3社
- ・金融機関からの相談件数 8件
- ・金融機関職員勉強会 1回
- ・経営者を集めた勉強会 2回

③ FREA やふくしま医療機器開発支援センター、ハイテクプラザ等への情報提供

- ・FREA 4社(温泉バイナリーに関する情報交換・見学等、郡山市・FREAとの企業訪問)
- ・ふくしま医療機器開発支援センター 2社(医療機器の製造・開発)

(ウ) 産産・産学等マッチング

① 日大工学部と市内企業のマッチング

- ・「自転車版ドライブレコーダー」
- ・ボーンチッパー（医療用機器）での機器評価
- ・その他 日本大学工学部へ企業を紹介 2件

② 会津大学と市内企業のマッチング

- ・会津大学へ 紹介 4社
- ・連携・相談 2社
(インキュベーションセンター入居企業2社のソフトウェア、IoTに関する課題を会津大へ相談)

③ その他高等教育機関と市内企業のマッチング

- ・奥羽大学 1件
(教授の研究とその検証のための事業化について協議、市内企業を紹介)

④ FREA やふくしま医療機器開発支援センター、ハイテクプラザ、川下大手企業と個別具体的なマッチング 1件

- ・医療機器製作に関して企業と病院、医療機器開発支援センターをマッチング

(エ) 産産・産学等連携事業

プロジェクトチームの形成

① 「生しいたけ自動選別機プロジェクトチーム」

JA 全農ふくしま、林精器製造㈱、日本大学工学部、テクノ・コム

② 「ボーンチッパー製作・販売」

総合南東北病院、アサカ精機、サージカルスパイン、医療機器開発支援センター、郡山市

③ 「WRS を狙ったコミュニケーションロボットの社会実装」検討・立上げ

㈱国際情報ネット、㈱プレイノペーション

5. 郡山地域ものづくり受発注商談会

「郡山地域におけるものづくり企業」の「新規取引先の開拓」、「ビジネスマッチングの機会創出」を図るため、「県内外の発注企業」を郡山へ招聘し、郡山地域の受注企業との大規模な商談会を開催。

- (1) 日 時 平成 29 年 12 月 1 日 (金) 13:00～17:20
- (2) 場 所 郡山商工会議所 6 階
- (3) 募集対象 【発注企業 (メーカー、商社 等) : 30 社程度】
 一般機械、電気機器、金属製品、精密機器、輸送用機器、製造業
 の資材・購買・調達・設備・生産技術部門、研究開発部門 等
 【受注企業 : 80 社程度】
 機械加工、製缶・板金・プレス、鋳造・鍛造、塗装、表面処理、
 電気機器、プラスチック成形、機械装置設計 等
- (4) 参加企業 【発注企業】 : 14 社 【受注企業】 : 31 社
- (5) 商談形式 「発注企業」と「受注企業」による個別面談方式
 (1 商談 20 分、最大 9 回程度)
- (6) 参 加 費 【発注企業】 : 無料
 【受注企業】 : 3,000 円 (税込) / 社
- (7) 進捗アンケート結果
 ア その後商談が進んでいる 12 件
 イ 今後、商談を進める予定がある 17 件

(1 月末現在)

6. 郡山オープンイノベーション会議 (K01 会議)

郡山市、会津大学、当機構の三者による包括連携協定の締結を受け、企業や地域が持つ課題の解決に向け意見交換を実施。

第 4 回

- 1 日 時 平成 29 年 6 月 28 日 (火) 10 時 00 分～11 時 00 分
- 2 会 場 郡山市役所 西庁舎 5 回 5-1-1
- 3 参加者 11 社・1 団体 16 名
- 4 内 容 (1) 航空機産業のまとめ (第 3 回会議までの総括)
 (2) 郡山圏域における産産・産学連携の取組について
 (3) 会津大学の最近の取組とシーズ紹介

第 5 回

- 1 日 時 平成 29 年 12 月 19 日 (火) 14 時 00 分～17 時 00 分
- 2 会 場 会津大学 LICTiA
- 3 参加者 14 社 21 名
- 4 内 容 (1) 会津大学内視察
 (2) 会津大学取組紹介
 (3) 会津大学ロボット事業紹介

7. ICTを活用した商談会（Linkers）

平成28年12月に締結した当機構とリンカーズ株式会社の覚書に基づき、リンカーズを通じた大手発注企業からの具体的な技術探索依頼に対して、当機構コーディネーターによる目利きにより、圏域企業を受注候補として推薦し、新規取引先の成立を支援している。

発注案件に係る紹介企業数 21件（平成29年4月～平成30年2月）

【広報活動事業】

1. 広報誌「サザンクロス」等による広報

昨年度の活動やピックアップ情報等を盛り込んだ広報誌を作成し、圏域内企業、関係行政機関、商工団体、研究会会員などに配布し、事業周知を図った。

2. テクノポリスだより

毎月1日に発行。サザンクロスでは紹介できない講演会の案内や当機構に関する旬な情報を紹介。圏域内企業、関係行政機関、商工団体、研究会会員などに配布し、事業周知を図った。

3. ホームページ、SNS(ソーシャルネットワークシステム)による広報

インターネット・ホームページ「テクノ・ニューコメ インフォメーション」や、SNS (Facebook ページ) により、テクノポリスの事業概要をはじめ、各種セミナー、研究会の開催案内・参加募集・開催報告、助成制度案件の募集など、企業に役立つ情報を提供。

4. メールマガジンの発行

会員企業等に各種セミナーや研究会の開催案内・参加募集・開催報告、その他事業等の実施報告、助成制度等の情報を提供するため、メールマガジンを月2回程度発行。

【理事会等の開催】

1.監査会

- 平成29年5月24日(水)
 - ・平成28年度事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書及び附属明細書並びに財産目録について

2.理事会

- 第1回 平成29年6月7日(水)
 - 決議事項
 - ・平成29年度定時評議員会の招集について
 - ・平成28年度事業報告について
 - ・平成28年度計算書類等について
- 第2回 〈決議の省略の方法による〉 平成29年7月11日(火)
 - 決議事項
 - ・評議員会の招集について
- 第3回 平成30年3月20日(火)
 - 報告事項
 - ・平成29年度業務執行状況について
 - 決議事項
 - ・平成29年度補正予算(案)について
 - ・平成30年度事業計画(案)について
 - ・平成30年度当初予算(案)について
 - ・評議員会の招集について

3.評議員会

- 第1回〈決議の省略の方法による〉 平成29年5月8日(月)
 - 決議事項
 - ・評議員及び理事の選任について
- 第2回〈定時〉 平成29年6月23日(金)
 - 決議事項
 - ・平成28年度計算書類等について
 - 報告事項
 - ・平成28年度事業報告について
 - ・平成29年度事業計画について
 - ・平成29年度収支予算について

○ 第3回<決議の省略の方法による> 平成29年7月19日(水)

決議事項

・監事の選任について

【役員等の異動】

1.評議員

平成29年5月 8日辞任 内藤清吾、平成29年5月8日選任 伊藤清郷

平成29年5月 8日辞任 作田秀二、平成29年5月8日選任 山田慶太

平成29年3月31日辞任 安達和久、平成29年5月8日選任 新関勝造

平成29年3月31日辞任 村上清喜、平成29年5月8日選任 石堂伸二

平成29年3月31日辞任 浜津佳秀、平成29年5月8日選任 箭内範夫

2.理 事

平成29年3月31日辞任 小貫正信、平成29年5月8日選任 根本 博

平成29年3月31日辞任 矢部玄幸、平成29年5月8日選任 須田潤一

3.監 事

平成29年7月19日辞任 古川光雄、平成29年7月19日選任 三浦謙一

【事業報告の附属明細書の省略】

平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成を省略する。

